

# 高温耐性、収量性、耐病性に優れた水稻系統「北陸263号」

農研機構 中央農業研究センター  
作物開発研究領域 稲育種グループ



夏が暑い場合は水稻の玄米の外観品質は低下し易いですが、「北陸263号」の玄米品質は低下しにくく、安定して良好です。また、「コシヒカリ」に比べて丈が短くて倒れにくく収穫量が多いので、収益性が高いです。さらに、イネ縞葉枯病に対して抵抗性なので、麦作地帯への導入も容易です。

## 1 暑くても玄米外観品質が低下しにくい



	北陸263号	コシヒカリ
玄米外観品質 <sup>※1</sup>	4.0	5.8
高温耐性 <sup>※2</sup>	やや強	中～やや弱

※1 数値が小さいほど良い。  
※2 暑い条件での玄米外観品質の低下し易さ。強い程安定して良好。

## 2 倒伏に強く収穫量が多い



	北陸263号	コシヒカリ
穂の出る頃	8月5日	8月5日
丈の長さ	71 cm	96 cm
収穫量(比率)	71.9 kg/アール (115%)	62.7 kg/アール (100%)

## 3 イネ縞葉枯病に対して抵抗性



- ヒメトビウンカが媒介するウイルス病。
- 罹病すると縞状の病斑を生じ、生育不良や穂の異常に繋がり、減収に至る。
- ヒメトビウンカはイネ科植物(特に麦類)において繁殖・越冬するので、麦作地帯では発生しやすい。
- 「北陸263号」はイネ縞葉枯病に対して抵抗性なので、麦作地帯への普及も容易。

- 普及・社会実装への道筋
  - 2018年品種登録出願予定。
  - 2018年度は、新潟県内および関東地域(麦作地帯を含む)でそれぞれ数ヘクタールの作付け予定。
  - 数年後に上記地域を中心に100ヘクタール以上の普及を目指す。